

令和元年度市長との小学校区意見交換会（岩倉東小学校区）記録

日時 令和2年2月1日(土)

午後2時～3時30分

場所 東新町公会堂

出席者 一般市民 28名

市長、副市長、総務部長、市民部長、健康福祉部長、建設部長、消防長、
教育こども未来部長、地域問題研究所 池田氏（コーディネーター）、
事務局（秘書企画課）

テーマ「第5次岩倉市総合計画策定に向けて」

1 あいさつ

- 2 第4次岩倉市総合計画基本計画の総括 秘書企画課主幹
第5次岩倉市総合計画の展望 市長

3 意見交換

（1）安心していきいきと暮らせるまち（健康・福祉）

（2）自然と調和した安全でうるおいのあるまち（環境・防災防犯）

【意見等】 岩倉団地の入居者は外国籍の人が3割で、言語も様々である。今までも市には、様々な支援をしてもらっているが、今後も外国籍の人が増えることが予想されるため、支援してほしい。

【意見等】 現在、子どもが東小学校に通っている。最初は、外国籍の子が多いため心配していたが、今はとても魅力のある小学校だと感じている。しかし、児童数が大変少ない。今後の東小学校の位置づけや児童数の対策について決まっていたら、教えてほしい。

【意見等】 岩倉団地には、岩倉東部地域包括支援センターや民間の介護施設があるが、まだ岩倉市の東の地域は社会保障が少し乏しいように感じる。市内にバランス良く医療や介護が受けられる施設を整備してほしい。

【市長】 外国人への支援については、以前はブラジル国籍の人がほとんどであったので、ポルトガル語の通訳を配置すればよかったが、現在はアジア系を中心に多国籍化している。言語もそれぞれ違うため、通訳を複数雇って対応するよりも通訳アプリなどを活用して対応

したいと考えている。しかし、サービスを機械任せにするだけではなく、市民に寄り添うようなサービスは今後も展開していきたい。

東小学校については、1 学年 20 人の学年があり、児童の半分が外国籍という状況であることは把握している。しかし、児童数が少ないというのは、教師が 1 人の児童に向き合うことができる時間が増え、手厚い教育につながると考える。また、東小学校は、多文化共生の面で評価を得ているが、それに加えて、少人数学級という特色も合わせアピールしていきたい。今後も、伝統ある東小学校の魅力をどのように高められるのか検討し、東小学校区へ人を呼び込む施策を展開したいと考えている。

高齢化が進む中で、福祉や介護、医療の支援はこれからの大きな課題であり、施設を作る、あるいは制度を充実させるなど様々なサービスが考えられる。また、移動手段や人の配置などサービスを提供する側のバランスも必要になる。これは岩倉市だけの問題ではないため、県や国とも連携しながら取り組んでいきたい。

(3) 豊かな心を育み人が輝くまち（生涯学習・教育）

(4) 快適で利便性の高い魅力あるまち（都市基盤）

【意見等】 東小学校と南部中学校の空調設備の整備はどのくらい進んだのか。また耐震化についてはどうなっているのか。

【意見等】 東小学校区でもいわくら福祉市民会議が行われ、その中で 2 年前に中本町のスクールガードが活動中に事故にあったことから、通学路の危険箇所を調査しようという話になった。この通学路は小牧市や大口町への抜け道になっていて、通学の時間帯に結構なスピードで車が走り抜けていく。今度、関係者で集まって、実際に該当の危険箇所の調査を行う。

また、四日市市の市営住宅で学生を格安の家賃で住めるようにし、自治会に加入してもらい、市の見守り事業や消防団として活動してもらうという取組を行っているとの新聞記事を見た。岩倉市でも交通の利便性を活かして、名古屋の学生を呼び込めないのか。現在、岩倉団地は高齢化が進み、消防団員や自治会の役員、民生委員などの担い手がいないため、学生や留学生を呼び込み、若い力を取り込みたい。学生だと住むのが短期間になってしまうかもしれないが、住むことで岩倉の魅力を感じて、その後も住み続けてくれるかもしれない。まずは、短期間でも岩倉市に住んでもらうような取組を行えないか。

【意見等】 団地の寿命は70年であると言われているが、岩倉団地は建設から50年が経過した。現在、再生計画はないようだが、今後も長く住み続けたいと考えているので、団地内の整備について市とURでしっかり話し合ってほしい。また、団地の住民の高齢化の話も出ているが、高齢者が現在の家賃を年金だけで払うのは難しい。市からもURに働きかけをしてもらい、今後も、低家賃で住みやすい団地のため協力をお願いしたい。

【意見等】 先日行われた、ふれ愛タクシーの説明会にて東新町老人クラブ会長名で要望書を提出したが、いつ回答をもらえるのか。

【市長】 東小学校と南部中学校の空調の整備状況については、去年に普通教室と一部の特別教室に空調設備を設置した。耐震についても、すでに基準を満たしている。

通学路の問題については、通勤の時間帯に幹線道路が渋滞することで、車が生活道路へ入ってしまうことで原因である。この問題は、中本町だけではなく市内全体で起こっている。解消策としては、幹線道路をしっかりと整備すること、規制をかけて生活道路内でスピードを出させないようにするなどの方法があるので、どの手段が有効であるのか検討していく。

様々な地域で高齢者と若者とが共生し、互いに刺激を受けながら、地域に貢献している事例がある。岩倉団地に若者を呼び込むためには超えなければならないハードルもあると思うが、挑戦してみたいと考えている。また、岩倉団地に限らず、岩倉市内全体で世代間交流を考えていきたい。

岩倉団地の今後については、市としても大きな問題であると考えている。現在、住んでいる人たちが困っているのであれば、市からURに働きかけることも考える。

【総務部長】 ふれ愛タクシーが岩倉駅周辺での乗降ができないことについては、制度設計を行う中で、名鉄バスなどの民間業者への配慮から不可とした。同乗者制限については、同乗者の範囲を無制限に拡大しないようにするためである。また、市内での交通手段の確保が目的であり、市外の病院への移動は制限している。しかし、将来的に、広域的な考え方も必要にはなってくるので、今後の課題として検討する。予約時間については、午後6時までできるようになっている。

四日市市の市営住宅の話は、四日市大学が四日市市と協力して行っている。岩倉市ではできないということではないが、四日市大学は地域貢献などに非常に意欲のある学校であることも理由だと考え

ている。

通学路の調査結果をぜひ教えてほしい。できることがあれば、考えていきたい。

(5) 地域資源を生かした活力あふれるまち（産業）

(6) 市民とともに歩む ひらかれたまち（協働・行財政運営）

【意見等】 ふれ愛タクシーを見直してもらい、とても利用しやすいものになったので、市には感謝している。今後、益々利用しやすいものにしてほしい。また、健幸都市宣言のまち岩倉として今後シルバーリハビリ体操を展開していくと思うが、開催場所の確保などしっかり行い、広げられるようにしてほしい。

【意見等】 消防団員のなり手がいないことが各町内で問題になっている。消防団員は、平日は仕事をしながら活動し、休日に市のイベントがあれば会場の警備や駐車場の整理などを行い、負担が大きい。例えば、イベントの会場の警備や駐車場の整理などは他の人にお願いして負担を減らせないか。

【意見等】 主要道路の渋滞緩和策を考えてほしい。道路の幅員の関係で矢印信号を設置することが難しいなど事情はあると思うが、検討してほしい。

【意見等】 現在、小学4年生を対象にヨーヨーの授業を行っているが、今後もぜひ続けてほしい。また、ヨーヨーは多世代交流のツールとして活用し、もっと広く岩倉市の人にヨーヨーの良さなど伝え、子どもたちと関わる機会を作してほしい。

【市長】 ふれ愛タクシーについては、現在、利用者も増えて好調である。どのような形態にするとより利用しやすいのかを検討し、最終的には公共交通全体の利便性を高めたい。また、岩倉駅はバスと電車をつなぐ役割があるため、岩倉駅周辺で乗降できないのは不便である。今後、より利便性の高いものに改善していきたい。

シルバーリハビリ体操については、地域の人に指導士となってもらい、指導士を通じて、普及させる。様々な機会を捉え、活動を広げていけるようにしていきたい。

消防団について、活動を通じて、新たな人とのつながりが作ることができる反面、本来の仕事をしながらの活動なので、負担は大きい。また、高齢化が進む中で消防団員の輩出が難しい地域があることは承知している。内部で解決策については検討しているところであるので、引き続き対策を考える。

道路渋滞の緩和について、矢印信号の設置という意見もいただいたが、矢印信号は、右折帯と一緒に設けないと効果があまりないと聞く。右折帯を設けるためには、道路を広げる必要も出てくるので難しい。しかし、ハード面だけではなく、ソフト面的な対策として、企業に始業時間をずらしてもらうなど方法もあるので、働きかけができればしたい。地域住民の安全が第一であるので、この問題については今後も取り組んでいきたい。

今月、たくさんのヨーヨーのイベントが岩倉市で開催される予定である。また、岩倉市には地元企業が作った「桜ストリーム」というヨーヨーもあるので、今後もよりヨーヨーを浸透させ、ヨーヨーのまちとして、施策を広げていきたいと考えている。